



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年6月21日

我孫子市小中一貫教育だより
第246号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうきちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



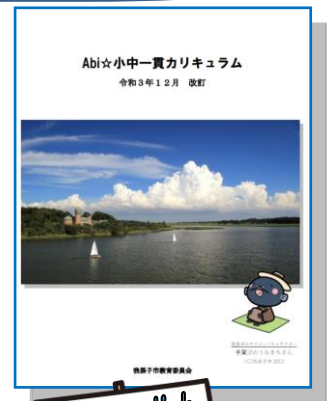
布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

令和4年度から、改訂版 Abi☆小中一貫カリキュラムを
実施していくうな～！

我孫子市では、「我孫子市小中一貫教育基本方針」にもとづき、我孫子市共通のカリキュラム「Abi☆小中一貫カリキュラム」を実施し、小学校と中学校の9年間をカリキュラムでつないでいます。

改訂版では、我孫子市の教育を象徴する2つのカリキュラム「Abi-ふるさと」と「Abi-キャリア」の2分野と、子どもたちの成長や学びの土台となるカリキュラム「Abi-道徳」「Abi-English」「Abi-ICT」の3分野で構成しています。

それぞれの分野から市の目指す子ども像に向けて、我孫子市小中一貫教育の育成の重点である「コミュニケーション力」「チャレンジ力」「豊かな心」を育みます。



今年度は、Abi-EnglishとAbi-ICTについて
共有授業実践を実施していくうな～！

今年度は、「Abi-English」と「Abi-ICT」の市共通学習について、共有授業実践を行います。中学校区での相互参観や、この小中一貫教育だより「TSUNAGU」をとおして授業実践を共有することで、それぞれの分野の理解を深め、よりよい授業づくりを目指します。



Abi-ICT「情報モラル」

5月30日(月)に布佐中学校第1学年で「情報モラル」を題材に授業が行われました。



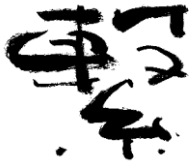
我孫子市のPRポスターを作るにあたり、授業の前半は「著作権」について学習しました。初めに著作権について知っていることを生徒に質問をし、その後、動画を見ながら著作権について学びました。動画を見た後は、いろいろなケースを例に挙げ、クイズ形式で著作権についての理解を深めました。



授業の後半は「我孫子市のPRポスターを作ろう！」をテーマに、officeのWordを使用して、実際にポスター作りを行いました。「ポスターに入れる内容」「配色や見やすさ」「写真の入れ方」などのポイントについて先生が説明した後、生徒は黙々と課題に取り組んでいました。

生徒がICTを日常的に活用するようになり、より一層情報モラルについての学習が大切になっています。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年6月21日

我孫子市小中一貫教育だより

第247号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

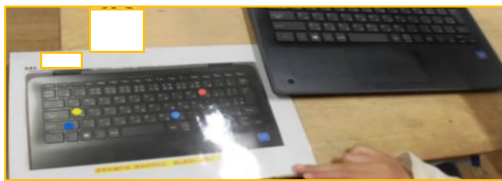
Abi-English と Abi-ICT の共有授業実践を紹介するうな～!

Abi-ICT「情報手段の基本的な操作技能」の習得

6月9日(木)に湖北台東小学校第1学年で、小学校に入学してから初めてタブレット端末を使う学習を行いました。

子どもたちは、自分専用のタブレット端末に興味津々。

電源を入れて、パスワードの入力画面まではスムーズに進んで喜ぶ子どもたち。続いて、「パスワード」がどんな役割をしているのか確認すると、「入れ(入力)ないと開けないもの」「鍵がかかっているような感じ。」「数字とかを入れる(入力する)。」など、これまでの生活体験から知っていることを次々と発表していました。よくわからないといった表情の子どもたちも、家の鍵を例に担任の先生から説明を受けると、その大切さがイメージできたようでした。



ったりと、最初は苦戦する様子が見られました。ICT教育支援員や他の先生方の応援も受けながら、何度か練習するうちに、授業が終了するまでにどの児童も電源を入れてシャットダウンするまで、一人で上手にできるようになりました。



いざ、パスワードを入力する段階では、一人ひとりのパスワードに合わせて、キーボードにシールでマークをつけたプレートをもとに、慎重に入力する子どもたち。

とはいえ、シフトキーが同時にうまく押せなかったり、同じキーを長押ししてしまい上手に入力できなかったりと、最初は苦戦する様子が見られました。



Abi-English「天気を伝え合おう」

6月9日(木)に我孫子第一小学校第4学年で、「市や国がどんな天気か伝え合おう」をテーマに学習を行いました。前時で学習した“How's the weather?”という表現に、今回は天気を知りたい地域を加え、より情報を詳しく知ろうという内容です。

まず、ウォームアップとして Abi-English を活用したフォニックス練習と、テレビ画面を利用した前時のキーワードのリズムチャンツを行いました。子どもたちは声を合わせてリズムに乗りながら発音していました。



続いて、本時のテーマである地域の天気を学ぶ場面では、担任の先生と ALT の会話を聞き、「どんなことを話しているのかな。」「前の学習と、どこが変わったのかな。」と、会話の内容や学習すべきことを推測しながら集中して聞く姿が見られ、これまでの学習の積み重ねが伝わってきました。

最後のアクティビティではグループごとに異なる地域の情報が書かれたプリントを持ち、10地点の天気を友達や先生にインタビューして情報を得る活動を行いました。授業を参観していた川村学園女子大学の学生にもインタビューをするなど、子どもたちは、終始明るく和やかな雰囲気の中で活動していました。

Abi-English 「国の様子を伝えよう」

6月23日(木)に湖北台東小学校第6学年で、「国の様子を伝えよう」をテーマに学習を行いました。

前時までに学習した国の名前を使って、その国の様子はどのようなものなのかを説明するというのが目的です。

まず、専科教員とALTのあいさつから始まり、全員で英語の歌を歌ってから、”Where do you want to go? What can we do? You can ~.”など前時に学んだ内容をリズムに乗りながら復習しました。



続いて、ALTの先生がいくつかの国を紹介しました。先生が話している内容を一生懸命聞きとろうと集中して聞く子どもたち。それから、様子を表す英単語を先生に続いて発音しながら学び、”America is a big country.”のように国の様子を伝える練習をしました。

最後に、4人グループで様子カードとぴったりの国をもち札の国カードから選び紹介するゲームを行いました。「coldにぴったりの国どれだろう？」などと悩みながら、英語で紹介していました。

子どもたちは、これまでの学習の積み重ねを生かし、生き生きと学んでいました。

Abi-Englishでは、系統的に、少しずつ繰り返し英語に慣れ親しみながら場面に応じた表現を身に付けていくうな。楽しみながら学習することも、大切にしているうな～！



Abi-ICT 「手がみやメールを書くときにはどんなことに気をつけたらいい？」

7月13日(水)に新木小学校第2学年で、道徳で情報モラルに関する学習を行いました。

まずは、前の時間に国語で学習した嬉しい気持ちになる「ふわふわ言葉」の反対、いやな気持ちになる「ちくちく言葉」について発表し合いました。

続いて、道徳教材の「たんじょう日カード」というお話を聞き、登場する「かばきち」と「うさこ」が、手紙で書かれた言葉の受け止め方によって気持ちがすれ違ってしてしまう場面について、みんなで考えました。物語の登場人物うさこは、かばきちを友達への「おたんじょう日カード」作りに誘います。喜んだかばきちは、その作り方を質問するために「なんで書くの？」とうさこに手紙を書きますが、うさこは違う受け止め方をしてしまう、という内容です。



こうした言葉のやり取りによるすれ違いは、子どもたちの日常の中にもたくさんあります。

特に語彙がまだ不十分な年代では、よく起こることです。子どもたちは、登場人物の気持ちに共感しながら、言葉の大切さについて考えていました。

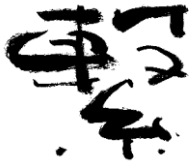
授業の最後には、言葉が発するときの「表情」についても、表情の絵カードを使って学習しました。同じ「おもしろいね」という言葉も、明るい笑顔で言われるのと、無表情で言われるのでは、印象が大きく変わることに気づきました。

こうした、日常での気づきが、今後子どもたちがICT機器を活用し、コミュニケーションを図る上での情報モラルの大切な土台となります。



Abi-ICTは、様々な教科・領域の中で学んでいくカリキュラムうな。特に情報モラルやプログラミング的思考は、学習の充実だけでなく、日常生活をよりよくするためにも大切うな～。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年7月22日
我孫子市小中一貫教育だより
第248号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT の共有授業実践を紹介するうな～！

Abi-ICT「チャットでは、どのようなルールやマナーがあるだろう」

6月20日(月)に我孫子第三小学校第6学年で、情報モラルについての学習を行いました。

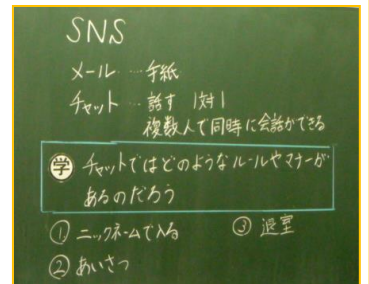
まず、授業の初めに、先生から SNS を利用したことがあるかを問われると、「メール」「チャット」「ライン」といった声ですぐに上がりました。



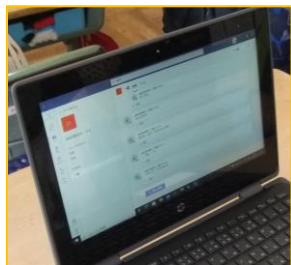
今回は、Teams を利用して実際に4～6人でチャットを体験しました。その後、チャットをするときは、どのようなことに気を付ければよいか、それぞれ気づいたことをワークシートにまとめ、全体で発表し合いました。最初に約束したルールに加え、「友達の名前を出さない」「他の人の写真を載せない」といった個人情報に関することや「質問に合わせて答える」「関係ないことは書かない」といったやりとりのマナー、「相手の傷つくことは書かない」「嘘はつかない」などのモラルについて共有することができました。

続いて、「ネットトラブルについて」の YouTube 動画を視聴し、言葉遣いの誤りから、友達関係が崩れてしまうという危険があることも知りました。

チャットのような SNS 上のやり取りでは、文書の書き方に責任を持つ大切さを学びました。



Abi-ICT「Teams で交信しよう」



6月30日(木)に湖北小学校第1学年で、タブレット端末の操作学習を行いました。1年生は、タブレット端末を利用するのは3回目、Teams を使うのは2回目です。

まずは、先生からのメッセージを受け取ります。Teams の画面を見つめて、メッセージが届いたことがわかると、ジェスチャーで先生に合図。続いて、今度は子どもたちから先生にメッセージを送ります。自分の姓か名前を、かな入力するのですが、初めての作業に四苦八苦する子どもたち。ICT 教育支援員や学級支援員、また参観に来ていた先生などたくさんの支援を受けながら、何とか全員送信しました。次は、少しレベルアップして、名前と好きな色を入力して、メッセージを送りました。



今回の学習をとおして、子どもたちは操作技能を学ぶこととあわせて、送ったメッセージはいろんな人に見られていることや、だから「いたずら書きはダメ」などマナーを守る大切さを知りました。



Abi-ICT「プログラミングを体験しよう」

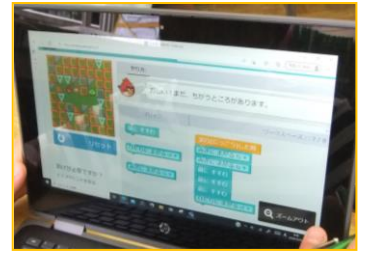
7月4日（月）に湖北台西小学校第4学年で、「自分で動かし方を考えて、組み立てて、コンピュータを動かしてみよう」という学習課題のもと、タブレット端末でプログラミング操作の体験をしました。



まずは、プログラミングについて、その意味を身近な家電製品などを例に学んだあと、今回は、Webアプリの「アングリーバード（古典的な迷路）」の基本操作を覚え、実際に操作体験を行いました。

ステップ1で先生から説明を受けると、ステップ2から各自で取り組みます。

ICT教育支援員による個別支援を受けながら、それぞれのペースで進めていきました。



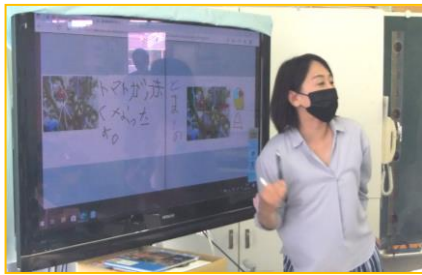
最後に、Teamsに感想を入力し、授業は終了となりました。

こうした体験を入口として、中学年ではプログラミング的思考の基礎を育てていきます。

Abi-ICT「写真にタッチペンでしるしや文字を書こう」

7月11日（月）に同じく湖北台西小学校第2学年で、タブレット端末を操作して、描画文字入力をする学習を行いました。

今回は、2年生が育てているミニトマトの写真から、生長の様子を伝えることが目的です。SKYMENU-Cloudの発表ノートを活用し、先生からトマトの写真が用意された課題を受け取ると、ICT教育支援員の支援を受けながら、そこに描画ペンで書き込んでいきました。



それぞれに記入を終えると、今度は、実際に子供たちが作成したシートを見合いながら、より様子がわかりやすい表現方法を全体で確認していきました。

目的に応じたICTの操作スキルの向上は、今後の学習の充実にもつながっていきます。

Abi-ICT「ローマ字入力をしよう」

7月14日（木）に湖北台東小学校第3学年で、国語の学習「ローマ字」の発展として、初めてのローマ字タイピングを体験しました。

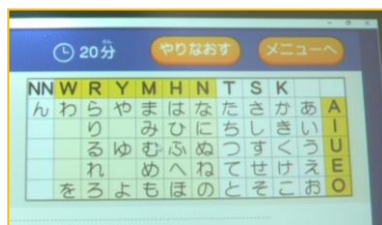
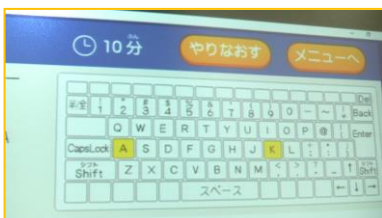
今回は、コンピュータ室にある学習者用PCで、「ジャストスマイル」のキーボード練習アプリを利用しました。



子どもたちは、ローマ字でタイピングするときの「ホームポジション」があることを知ると、指や手の位置を意識しながら、あいうえお50音を、順番に打つ練習を行いました。アプリには、動画面ポジションマークが表示されるので、それを見ながら各自練習を進めました。一通りできたら、今度は基礎的な問題にそれぞれのペースで楽しみながら挑戦しました。



3年生からは、これまでのかな入力から、ローマ字入力へとレベルが上がります。操作する機会を増やし、慣れ親しみながら操作技能を向上させていきます。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年7月22日
我孫子市小中一貫教育だより
第249号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-English、Abi-ICTの共有授業実践を紹介するうな～!

Abi-English「1から10まで英語で言ってみよう！」



6月23日(木)に湖北小学校第2学年で「1～10」の数をテーマに学習を行いました。

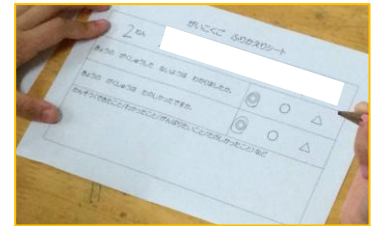
授業は、担任の先生とALTの2人で進行します。

子どもたちは、まず1から10の数字の発音を学びました。続いてビンゴゲームです。ビンゴカードのマスにそれぞれ1～10までの数字を入れて、さあ、運試し。先生が数字カードを引いて、同じ数字が出たら○をつけていきます。みんなワクワクしながら、ゲームを楽しみました。

最後に音楽と映像を交えた学習でリズムに合わせて学びを深めました。特に、映像を見て発音する場面では、全員が楽しそうに全力で体を動かしていました。

振り返りのプリントを記入して授業は終わりましたが、どの児童も充実した1時間の授業の感想を記入していました。

低学年からの繰り返し学習を通して、楽しみながら積み重ねることで、高学年、中学校での英語学習につなげていきます。



Abi-English「今何する時間？」

6月24日(金)に布佐南小学校第4学年で、「生活の中にある時間」をテーマに学習を行いました。

まずはALTの挨拶に元気な声で返事をしたあと、ジェスチャーを付けて大きな声でLet's song! 英語の歌を楽しみます。続いて、復習として”How old are you?”という表現を使ってお互いに年齢を聞きあう活動を行いました。

次に本時のテーマである「生活の中にある時間」について、”breakfast time”や”study time”など日常生活にある時間を英語で表現する学習です。先生の後に続いて言ったり、前に出てきた友達のマネをして言ったりとたくさん練習を重ねていました。その後、2人組でかるたゲームのように、読まれた表現のカードを取り合うゲームを行いました。”Hands on your head.”の掛け声で頭に手を置き、”It's ○○ time.”でカードを探し、”Ready. Set. Go.”の掛け声でカードを指差します。子どもたちは読まれる英語表現をしっかりと聞き取ろうと集中し、”GO!”の掛け声とともに一斉に指を差していました。中学年では、低学年から慣れ親しんできたゲームなどの活動を通して、場面に応じた英語のフレーズや文章表現を身に付けていきます。



Abi-ICT「情報手段の基本的な操作技能」の習熟



6月6日(月)に湖北台中学校第1学年で、「SKY MENU」の操作について復習しました。どんな機能があるのか、どうやって使うのかを、実際にタブレットPCを触りながら確認しました。「発表ノート」の使い方の確認では、発表画面に自分の名前を打ち込み、筆箱にあるお気に入りの一品を写真に撮る作業を行いました。多くの生徒が小学校での経験を活かし、スムーズに自分の発表画面を作成していました。「ポジショニング」機能の確認では「無人島で生き抜くために必要なものはなに？」をテーマに4つの道具の中から1つ選び、その理由を打ち込みました。その後、

班員と意見を共有し、改めてポジショニングを行いました。クラスの仲間の意見の変化を見て、嬉しそうにする姿が印象的でした。

授業の終わりには先生からIDの管理の大切さやオンライン上でのルールの話がされ、真剣な態度で聞いていました。

小学校で得た操作技能の知識が、個々で差はあるものの確実に浸透していることを感じられる授業でした。



Abi-ICT「情報モラル」

6月6日(月)に湖北台中学校第2学年で、「情報モラル」についての学習が行われました。授業では、資料をもとに考え、学級全体でその危険性と対応について共有しました。

学習課題として「情報発信の責任と重要性について考えよう！」と提示されると、生徒たちはまず日常的に使用している携帯アプリについて確認。続いて、「友達同士のラインでのやり取り」について示された資料から、その問題点(言語表現によって生じる誤解)を洗い出し、それによってどんな問題が発生するかを考えました。



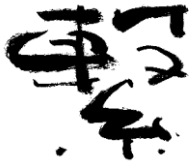
次に「写真を掲載して発信した情報」について示された資料からも、同様に問題点を洗い出し、その結果起こり得る問題について考えました。「何かしらの情報発信をしようとする際、どんなことに気をつけたらよいか？」について生徒一人ひとりが考え、ワークシートに記入した後、全体で共有し確認をしました。

情報モラルについて、具体的に考えるための大切な機会となりました。



中学校では、小学校での学びの積み重ねを踏まえて、学習を進めていきます。学びの経験や生徒の実態を踏まえつつ、体験的に学習していくことが大切になります。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年7月28日

我孫子市小中一貫教育だより
第250号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

中学校区の交流活動と Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

生徒会と児童会の交流会 第1回

7月8日(金)に白山中学校区で白山中学校の生徒会、我孫子第一小学校、我孫子第四小学校の児童会が交流しました。Teamsを使ったオンライン会議で、各校の役員が自己紹介をするとともに1学期に行った活動を紹介し合いました。3校ともたくさんの活動をし、生徒会・児童会が学校を盛り上げている様子を共有することができました。
<我孫子第一小学校より>



生徒会が学校行事の計画や運営を行うことを聞き、中学生になると任される仕事内容のレベルがぐんと上がると驚いていました。また、一小から創立150周年記念キャラクター“ピヨ吉”の紹介をしました。その後、四小から“よつバード”(四小のキャラクター)の紹介があったので、会議終了後、「今度は“よつバード”の名前やデザインの由来が聞きたいな。」と声が上がりました。互いに様子を報告し合うことで、情報共有をするだけでなく、お互いの活動を比較したり参考にしたりすることができました。交流会を通して、2学期に向けて活動への意欲が高まりました。

Abi-English「1～12の数字の言い方を知ろう」

7月14日(木)に我孫子第三小学校第2学年で、「1～12の数字の英語の言い方を知ろう」をテーマに学習を行いました。

まずは、ALTの“How are you?”の問いかけに、子どもたちは嬉しそうに“I’m happy.”や“I’m wonderful!”と元気いっぱい返事。続いて“Hello. How are you?”の歌を、身振りをつけながら笑顔いっぱい大きな声で楽しそうに歌い、明るい雰囲気が始まりました。



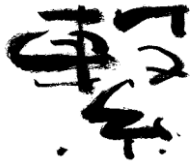
続いて、復習として1年生で学習した1～10までの表現を身振りをつけながら発音し、それから、本時のテーマである「11・12」の言い方をALTから教わり、ゲームを行いました。

ゲームのルールは、ALTはもちろんのこと、担任もほぼすべて英語で説明します。子どもたちは先生たちの話しぶりやジェスチャーに注目し、集中して聞きます。1人がわかると「こういうことだ！」と嬉しそうに周りの友達に話をし、その輪があつという間に教室内に広がってゲームのルールが浸透していきました。

まとめのゲーム「Number Pyramid」では、1～12の中から好きな数字を10個選び、ピラミッド状になっているマスに1つずつ書き込みます。その後、友達に“What number?”と互いに聞きあい、友達の言った数字を聞き取ってマスに○をつけるというものでした。友達のもとにかけより、“What number?” “Eleven.”など今日習った表現を積極的に使い、「あつー！」と嬉しそうな姿。

上手に話せている児童や頑張っている児童に対しての先生方の温かい声掛けが子供たちのやる気や雰囲気を作っていました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年9月15日

我孫子市小中一貫教育だより
第251号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

夏季休業中の中学校区の交流活動の様子を紹介するうな～！

白山中学校区 合同研修会

8月19日に、白山中学校体育館で、一小、四小、白山中の教職員が久しぶりに集合することができ、不祥事根絶をテーマとした三校合同研修会が行われました。

講師の学校教育課 阪路管理主事が昨年度の県の不祥事の数进行と、教職員からは「20件」「25件」と手が挙がりました。やはり不祥事が多いという認識です。実際には令和3年度は監督責任も含めて20件、今年度もすでに7月までで4件、ちょうど研修会直前の8月17日付けで新たに3件の懲戒処分の発表があり、さらに8月16日付けで2名の教諭逮捕の報道があったとの話で、残念な事実を重く受け止めるしかありませんでした。



具体的な事例から、不祥事となってしまった原因、背景をグループで話し合い、発表し合うことで、改めて不祥事根絶の意識が高まり、気を引き締めました。「迷ったら足元を見て、立ち返ってみる。」「さわやか先生を目指そう。」「ともに働く仲間を感じられる職場環境が大切。」という阪路管理主事の言葉を胸に、白山中学校区ではともに子どもたちのために力を合わせていこうと心をつにしました。

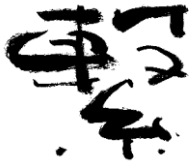
布佐中学校区 合同研修会

8月19日に、布佐中学校体育館で、布佐小、布佐南小、布佐中教職員の、布佐の歴史と不祥事根絶をテーマとした合同研修会が行われました。

前半の布佐の歴史をテーマにした研修では、文化・スポーツ課の今野主査を講師として招き、布佐地区の先人である「岡田武松」と「井上二郎」を取り上げ、布佐の特色や、それぞれの人物の主な業績や布佐との関わりについてのお話をいただきました。今野主査が用意してくださった当時の布佐の様子が見られる貴重な資料から、港町布佐がどのようにして成り立ったのか、また手賀沼の干拓は布佐にどのような影響を与えたのかなど、詳しく学ぶことができました。布佐に誇りを持ち、布佐を大切にする子どもの育成のため、教職員もともに学ぶことの大切さを実感する時間となりました。



後半の不祥事根絶をテーマにした研修は、湖北台東小学校の速水校長を講師として招き、不祥事を無くするためには何が必要なのか、一方で誰もが不祥事の当事者になる可能性がある中で、どのような対策が考えられるかといった視点からお話をいただきました。具体的な事例をとおして、教員として必要な資質、すなわち教員は子どもと過ごす時間が長いことから、教員の行動、言動が子どもに与える影響が大きいことを自覚し、実感した上で自律できるということが大切であることを学びました。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年9月28日

我孫子市小中一貫教育だより
第252号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-English 「相手ができるかどうかたずねよう」

9月12日に、我孫子第四小学校の第6学年で、「相手ができるかどうかたずねよう」をテーマに授業が行われました。前時の授業で学習した”I can ~ / I can't ~”という表現を活用して、クラスの仲間に尋ねてみようというものでした。

まずは、動作を表す言葉について、うなぎちゃんの描かれたカードを使って発音の確認をし、そのカードと“I can / I can't”と組み合わせる文章にしながらみんなで声に出して練習しました。

続いて、先生とALTの対話を聞き、今日の授業のポイントは何かを考えました。先生がALTに“Can you do Sado (茶道)?”と質問すると“Yes, I can.”と言って茶器や茶せんを出し、お茶をたてる仕草を見せてくれました。子どもたちはみんな「すごい。」と興味深々。その後、

“Can you ~?” “Yes, I can. / No, I can't.”の表現を練習してからインタビューゲームを行いました。“Can you eat green peppers?”など学級の仲間に各々が考えた質問を聞いてまわり、最後に“5 students can eat green peppers.”などみんなの前で紹介しました。

新しい学習やルールの説明など様々な場面で英語が使われ、子どもたちは学習の内容だけでなく、そうしたやり取りの中でもたくさんの英語に触れています。



Abi-English 「にじのいろをおぼえよう」

9月12日に、新木小学校の第1学年で、「色」を表す英語を知る・話すことをねらいとした授業が行われました。

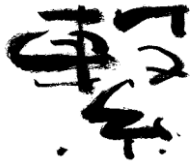
“Let's start English”の挨拶で始まり、動画「I Can Sing a Rainbow」を見せながら「色」を表す英語を確認すると、子どもたちは本時の学習課題を「にじのいろをおぼえよう」と自分たちの言葉で設定しました。

続いて7色の色紙を見ながら、先生の後が続いて発音の練習をします。取り上げる色紙の順番を変える、色紙を裏返すなど、少しずつ難しくなっても、子どもたちは大きな声で元気よく発音し、色と表現をしっかりと結び付けていきました。

その後、アクティビティとして休み時間に遊んだ「いろおに」に模した「Touch color」ゲームや、出会った友達と英語で挨拶と色カードの交換をしていきながら最後に持っていたカードの色とラッキーカードの色が一致するかどうかを楽しむ「Lucky card game」を行いました。いずれも子どもたちは積極的に活動し、笑顔で元気よく楽しそうに学んでいました。

最後の自己評価と振り返りを記入する場面では、多くの子どもたちが本時のねらいに準じた内容を記載しており、充実した学びの時間になったことを感じました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年9月28日

我孫子市小中一貫教育だより
第253号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～!

Abi-English 1～10の数字を言ってみよう

9月14日に、布佐南小学校の第1学年で外国語活動の授業が行われました。

授業が始まる前から「エリック先生まだかな?」と楽しみに待つ子どもたち。ALTが教室に来ると「ハロー」と1人1人が大きな声であいさつをしていました。全体で元気に挨拶をしたあと、みんなで歌を歌いました。動きを表す言葉とジェスチャーに重点を置いて、大きな声と動きをつけて上手に歌うことができました。続いて、自分の名前を伝える練習です。

“What’s your name?” “I’m○○.”と周りの友達とお互いに名前を尋ね合いました。会話が終わったあとにお互いに“Good job!”と嬉しそうに褒め合う姿がとても印象的でした。



本時のテーマである「1～10の数字」を練習しました。黒板に書かれた1～10の数字をALTの後に続いて大きな声で発音したり、グループでお手玉を渡しながらか数字を言ったりと様々な方法で楽しく練習をしていました。最後にALTが発音した数字を紙に書くというアクティビティが行われました。多くの子どもたちが英語を聞き取って数字を的確に答えている姿から、しっかりと英語で数字を理解できていることがわかりました。



Abi-English “Do you like ○○ (色)?”

9月15日に、我孫子第三小学校の第3学年で、外国語活動の授業が行われました。

ALTからのあいさつで“How are you?”と聞かれると、みんなが嬉しそうに“I’m happy.”や“I’m wonderful!”と大きな声で返事をし、明るい雰囲気です授業が始まりました。

まずは「色」の英語表現を復習すると、続いてALTと担任の先生の英語での会話を聞き、今日のテーマは何かを考えます。

児童の“Action!”の合図で2人の会話がはじまり、“Cut!!”の合図で終わります。子どもたちは一生懸命に聞き入り、会話が終わると隣の友達と内容を伝え合いました。内容がよく分からなかった児童も、「～っていうこと?」と周りの子に質問し、「そうそう!」と友達や先生たちから言われると嬉しそうにしていた姿が印象的でした。それから、色を表現した歌を歌いました。初めて歌う歌にもかかわらず、すぐに歌いだす姿から、子どもたちの英語への関心の高さや聞き取る力が育まれていることがわかりました。担任も“Listening time!”、“Good!”や“Great!!”などジェスチャーをつけながら伝え、児童の意欲を引き出していました。

最後にカラービンゴを行いました。先生たちの丁寧なデモンストレーションにより、全て英語での説明でもきちんとルールを理解することができていました。実際にアクティビティが始まると、子どもたちは意欲的に“Do you like Yellow?”などお互いに好きな色について尋ねあっていました。

45分間すべて英語で行われた授業でしたが、終始笑顔があふれる素敵な授業でした。



久寺家中学校区 教育ミニ集会

8月24日に、久寺家中学校で、根戸小、並木小、久寺家中の3校合同で教育ミニ集会が行われました。コロナ対策として、今回は3校の教職員や保護者など代表の方が集まったの開催となりました。



今年度はボランティア活動をテーマに、千葉県環境生活部県民生活課の水野氏、東葛地区ボランティアコーディネーターの影山氏を講師に招いて、講話をいただきました。

水野氏からは、千葉県のボランティア活動等の取組の様子や、はじめてボランティアを行う場合の窓口などについて説明をいただきました。

また、影山氏からは、オンラインで、ボランティアが求められる社会背景や、ボランティア組織の運営について、そして運営の核となるコーディネーターについてお話しいただきました。途中で、少人数での話し合いをはさみ、お話しいただいた内容について深めたり、広げたりしながら、様々な視点からボランティア活動について考える時間となりました。

今後、中学校区において地域学校協働活動を進めていく上で、多くのヒントを得られた教育ミニ集会となりました。



湖北台中学校区 合同学校運営協議会

8月29日に、湖北台中学校の体育館で、湖北台西小、湖北台東小、湖北台中の3校合同学校運営協議会が開催されました。

今年度初めての合同開催ということから、まずは各学校の運営協議会委員の自己紹介、顔合わせからスタートしました。

続いて、湖北台中学校区小中一貫教育グランドデザインをもとに、目指す15歳の生徒像に向けて取り組んでいくことについての確認を行いました。これからは、中学校区でどんな手立てで目指す姿に向けて取り組んでいくのか、話し合っていこうという方向性についても確認をしました。

その後、その取り掛かりとして、現在、それぞれの学校でどのようなきまりや、ルールがあるのか、また必要なのかについて話し合いを行いました。

各学校に分かれての協議では、児童生徒の実態を踏まえ、様々な角度から話し合いが行われました。今あるきまりやルールやその必要性についてだけでなく、学校が抱えている課題、中学校区全体で取り組む必要がある課題などが挙げられました。また各学校の協議後、協議結果を報告し合うことで、3校の学校運営協議会で情報を共有することができました。

具体的な内容等については、ぜひ各学校のHPをご覧ください。



今年度から我孫子市の小中学校はコミュニティ・スクールとなったうな。学校運営協議会や地域学校協働活動も小中一貫教育の視点をもって取り組んでいくうな～。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年9月28日

我孫子市小中一貫教育だより
第254号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-English “Where is ～？”

9月15日に並木小学校の第5学年で、“Where is ～？” “It’s on(under, in, by ～.)” について学習しました。

教科担任が **Today’s Goal** と Today’s key point を黒板に示してから、代表児童の発声に続いて全体で“Let’s start our English. Good afternoon～.” と挨拶をして学習が始まりました。

まず、学習の導入として、タブレットを使用したゲーム(配信された絵の英単語を答えて速さを競う)を行いました。4人1チームで解答し、子どもたちは一喜一憂しながら取り組んでいました。

続いて、改めて **Today’s Goal** と Today’s key point を確認します。TV画面の絵を見ながらALTが“Where is～？”と質問し、子どもたちが答えるという練習を繰り返した後、絵が描いてある2種類のプリントが配付されます。その絵を見ながら、異なる絵を持った子ども同士で“Where is～？”の質問を出し合い、答えを聞いてプリントのその場所に書き足すというアクティビティと、教科書の絵を覚えてALTが出す“Where is～？”の質問に答える練習を行いました。

最後に次の予告と振り返りを行い、1時間を通して集中して学んだ充実した授業となりました。



Abi-English “Let’s talk about Summer Vacation”

9月22日に我孫子中学校の第2学年で、教科担任とALTのTeam Teachingによる学習が行われました。**Today’s Goal** はLet’s talk about Summer Vacationと設定され、All Englishに近い形で授業が展開されました。

始めにALTと生徒で挨拶が行われ、教科担任が **Today’s Goal** を黒板に示します。続いてALTと教科担任のテーマに沿ったコミュニケーションの様子を視聴する子どもたち。その途中、何度か英語で先生たちから質問され、回答するというやりとりを通して内容を確認しました。

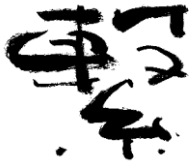
続いてALTから子どもたちに“ We want know your Summer Vacation.” と投げかけられると、さらに①Where did you go? ②What did you do? ③How was it? と質問が加わります。これに生徒2人が代表して答えました。教科担任は、この場面では答える生徒の支援役になります。

質問の仕方と答え方の例を全体で練習してから、隣同士でお互いに質問し合い、活動を通して表現に親しみます。最後に模範解答を映像で確認しながら、自分と友達のSummer Vacationについて英作文にまとめて終了の時間となりました。生徒は終始笑顔で授業に集中し、充実した1時間となりました。



学びの内容も、学び方も、小学校から中学校へとつながっていくうな～。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年10月13日

我孫子市小中一貫教育だより
第255号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-English「友達の道案内を聞いて行き先を当てよう！」

9月26日に高野山小学校の第5学年で「友達の道案内を聞いて行き先を当てよう！」という学習が行われました。

まずは日付、曜日、今日の調子などの確認をした後、Abi-Phonicsで「b」の発音について学習しました。

続いて、今日の内容です。復習では、“Go straight.” “Turn right.” など、高野山小学校近辺のオリジナル地図をたどりながら道案内の表現について確認。今日は、さらに “Go straight for two blocks.” “Turn left at the third corner.” というように、目印となる表現を組み合わせる練習をしました。目的地のところで “You can see it on your right.” と言えば、お目当ての建物が右側にある到着！です。

練習した表現を使って、グループごとに道案内クイズをしました。一人が道案内し、言われたように地図をたどってどこに着くかを当てるゲームです。案内役の児童は一生懸命伝え、他の児童は消しゴムで地図をたどりながら「我孫子高校！」「鳥の博物館！」と当てていました。

振り返りでは、「案内する言い方がわかった。」「聞くことはできたけど、道案内するのは難しかった。」など、できたことや難しかったことを素直に書いていました。

道案内は目的に応じて複数の表現を組み合わせるのが難しいところです。少しずつ表現に慣れ親しんでいけたらいいですね。



Abi-English「不良品を交換しよう」

9月26日に布佐中学校の第3学年で、仲間同士でコミュニケーションをとることを目標とした学習が行われました。

まずは英語で挨拶をすると、すぐに教科担任とALTの連休中の出来事などを話題にしたやりとりが始まり、生徒たちにも質問しながら和やかな雰囲気の中で授業がスタートしました。

次に、教科担任から今日の課題が提示され、学習の内容に関する単語や熟語で1学期の既習事項を復習します。それを受けて教科担任とALTは、実物のバナナを取り出し、腐ったバナナと新鮮なバナナを交換するためのデモンストレーションを行いました。生徒たちは、先生方の会話をヒントに、“smartphone”を始めとした4つの名詞と“broken”を始めとした4つの形容詞を組み合わせ、新しい物と交換するための英会話をペアで考えて作文をします。その後、会話の練習を行ってからペアで全体の前に出て発表しました。

生徒たちは身振り手振りを交えながら堂々と発表することができ、教科担任とALTからも的確な評価と称賛の言葉・拍手がありました。発表後の生徒たちの安心した表情と笑顔が印象的でした。

生徒一人ひとりが学びの達成感を味わうためには、授業の展開や指導の工夫、学びの集団の大きさなど、最適化していく大切さを実感する授業でした。

